

活動名	団体名 岩国科学をたのしむ会 地域 山口県岩国市 代表者 代表 原田 広子 支援金額 20万円
わくわく科学SUMMERフェスティバル2009	
活動概要	
<p>目的:「岩国科学をたのしむ会」は、仮説実験授業(板倉聖宣提唱)を受けることで、科学の楽しさをより多くの子どもたちや大人に味わっていただくために毎月第3土曜日の「わくわく科学クラブ」を行っています。一昨年度から夏休みのイベントとして「わくわく科学SUMMERフェスティバル」を開催しています。2年続けて開催した夏休みの「わくわく科学SUMMERフェスティバル」が大変好評で、お盆に開催した昨年から高学年や中学生の参加者も増えました。今回も幅広く子どもたちや大人に科学の楽しさを、満喫していただけたと思います。</p> <p>内容:お盆の丸一日、科学の授業(仮説実験授業)をじっくり受けていただき、また、昼食後は、ものづくりを楽しんでいただきました。</p> <p>◆実施時期: 2009年8月16日(日) 岩国市中央公民館</p> <p>◆参加人数: 低学年 A:24名、低学年 B:22名、中学年 C:31名、中学年 D:23名 高学年 E:17名、高学年 F:14名、大人:1名、ものづくり:170名</p>	
参加総人員 308名	



《もちもちウィンナー》



《ものづくり会場風景》



《皿まわし》



《高校生による分子模型作り指導》

## ◆実施に伴う効果

1. お盆に開催したことでの日頃はクラブ活動などで参加できない高学年の子どもや中学生の参加があった。
2. 過去にわくわく科学クラブに参加してきた中学生・高校生・大学院生・大人たちが、積極的に協力してくれた。
3. 今回の受講者の多くから来年も開催してほしいという声があった。
4. 参加した地域の子供たちから、来年も是非開催してほしいという声があった。
5. 参加した子どもたちの中に2学期からの「わくわく科学クラブ」に参加した者があった。
6. 参加した子どもの保護者から、来年はスタッフとして参加したいという申し出があった。
7. 参加者から他の地域でも開催して欲しいという声があった。

## ◆苦労した点

### [予 算]

- ①今回は、一日開催としたが、高学年の講座を1つ増やし、経費的には割高になった。
- ②経費節減のため、印刷は、教育委員会に依頼してスタッフで行ったが、かなりの時間的負担になった。
- ③教育委員会の学校あて送達箱で各学校へ配達したため、配達費用が削減できた。
- ④教育委員会共催であったため、会場費が押さえられた。

### [外部へのPR]

- ①各マスコミにチラシを送った。中国新聞社には昨年同様に後援を頂き、当日、取材に来られた。
- ②市内各小学校及び中学校の全児童・生徒に配布した。
- ③県内の主な市に会員の口コミでチラシ配布を依頼した。
- ④ポスターを公民館や図書館、出張所などに掲示した。

### [会 場]

お盆で他の行事がなかったため、昨年会場とした中央公民館が全館予約ができた。

### [講師等の確保]

お盆の開催なので、講師、スタッフの確保が難しく、1日のみの開催に変更した。  
また、昨年同様原則講師二人体制とし、負担の軽減を図った。

### [参加者の安全]

参加者の安全確保のため、各講座に経験のある講師・アシスタントを配置した。

### [地域の理解]

中央公民館の駐車場が狭かったので、道路向かいの小学校のグラウンドを借りた。

### [行政の協力]

教育委員会に共催していただき、印刷、チラシの学校配布、公民館の使用料の軽減等経費の削減に協力していただけた。

## ◆今後の課題・発展の方向性

- 今後の課題：
- ①部屋数を確保できる安価な開催会場を確保することについて
  - ②助成がない時の参加費について
  - ③教育委員会の共催について

- 発展の方向性：
- ④来年も今年と同規模のイベントを開催したい。

⑤開催時期は、日頃にクラブなどで参加できない子どもたちにも受講して欲しいのでできるだけお盆に開催したい。(スタッフの確保が可能であれば)

⑥助成金等を探し、安価な参加費としたい。

⑦開催会場の確保について。

⑧教育委員会共催について。

⑨他地域での開催も含め、複数回の開催の検討をする。

## ◆活動を終えての感想・意見等

今年も貴財団の助成をいただき、参加者に大きな負担をお願いすることなく、このイベントを無事に終了することができました。これから、夏のわくわくとして地元に定着し、科学が個人の楽しみごととして音楽や演劇などのように時間を作り行きたい場になるといいと思っています。

今年も、参加した子供や大人たちの、科学を満喫し、楽しさに満ち足りた笑顔を見る事ができました。講師やスタッフも、この場に居て、楽しんでくれている子どもらと授業やものづくりの時間を共有することが元気の元になると言ってくれ、主催して嬉しい限りです。

貴財団からの助成により、十分なスタッフと遠方のベテラン講師を招くことができ、このイベントが参加者にもスタッフにもより充実したものになったことを感謝します。